



第16回

いろいろな誘い方

～相手を誘う表現～

学習のポイント

- 相手を誘うさまざまな表現が使える
- 動きのある表現が使える

英語監修・執筆 鳥飼慎一郎

相手を誘うさまざまな表現が使える

■コミュニケーション

私たちは、日常生活の中でしばしば、相手に対して「一緒に～してみませんか」と誘ってみたり、「～はどうですか」と提案したりするものです。英語で相手を誘ったり、何かを提案するには、どう言えばいいのでしょうか。また、誘われたり、提案されたりしたらどう答えればよいのでしょうか。

Let's ~.

相手を誘う最も基本的な表現が、**Let's ~.**です。例えば、「スケートボードをしよう」と相手を誘うのであれば、**Let's skateboard.**とさえいいのです。そう言われたら、正式には、**Yes, let's.**とさえいいのですが、単に **OK.** あるいは **All right.** と答えてもいいでしょう。反対に、やりたくなかったら、**No, let's not.** が正式な言い方ですが、**No, I don't want to.** などと言って断ることもできます。

Shall we ~?

もう少し改まった言い方をしたいのであれば、**Shall we~?** がいいでしょう。

「ここに一緒に座りませんか」でしたら、**Shall we sit here?** とさえいいのです。もしもこのように聞かれ、座りたければ、**Yes.** だけでもいいですし、**I would love to.** などと続けてもいいでしょう。座りたくなければ、**No, thank you.** でかまいません。番組で直美は **With pleasure.** と言います。これは「喜んで」という意味になり、かなり上品な答え方です。

How about ~?

What about ~?

すでに何かをすることが決まっていて、さらに具体的な提案をするときに使うのが、**How about~?** あるいは、**What about~?** です。例えば、今週末ハイキングに行くことは既に決まっているのですが、どこに行くのかを話し合っているときに、

How about Mt. Takao? It is not far. (高尾山はどう? 遠くないし)

などと使います。あるいは、ハイキングに行く集合時間を決めようとしているときには、

What about 7? Trains are not crowded then. (7時はどう? 7時じゃ、電車も混んでないし)

などと使います。相手からこのような具体的な提案を受けて、賛成であれば、**That's a good idea.**や**OK.**や**That's fine with me.**などと言います。もしもいいと思わなければ、**Well, how about Hakone? We can enjoy a hot spring there.**（箱根はどう？ 温泉が楽しめるし）などと対案を出し、そのいい点を述べれば説得力が出るでしょう。

動きのある表現が使える

■単語や表現

英語では、方向や場所を表す短い語が動きを表す語と結びつくことで、動きに豊かな意味合いを添えることができます。

walk up

walk down

日梨が直美に、**Walk up the stairs.** と言っていますが、**walk** だけでは「歩く」という意味で、「登る」という意味にはなりません。上のほうに移動することを表す **up** が付いて初めて、「上の方向に歩く → 登る」という意味になります。反対に、「下る」であれば、**walk** に下の方向に移動するという意味の **down** を付けて、「下の方向に歩く → 下る」という意味になります。

look up

look down

look は「見る」ですが、これに **up** が付くと、「上の方向を見る→見上げる」という意味になります。反対に、**down** が付くと「下の方向を見る→見下ろす」という意味になります。

push up

lie down

私たちが運動でやる「腕立て伏せ」ですが、腕を伸ばして上体を押し上げる動きは、**push up** と言います。手で床を **push** し、自分の体を上げるからです。反対に、床に体を寝かせる動きは、**lie down** と言います。**lie** は「横になる」という意味ですが、**down** が付くと、いかにも上がっていた上体が下に戻って、床の上に伏せるという感じが表せます。

push out

pull in

手を外側に向かって突き出す動きは、**push out** です。これも両手を外に向かって勢いよく出す感じが出ています。その反対は、**pull in** です。両手を自分の体の方に引っ込めるようすが生き生きと表現されています。**push** と **pull** は反対の意味を表す語としてよく使われます。英語圏では、ドアの「押す」の表示は **Push**、「引く」の表示は **Pull** と書かれています。

■英語のきまり

東京の名所旧跡を回るプランを考えていたとしましょう。「明治神宮はどうでしょう？」と提案をするときの表現は、次のようになります。

How / What about Meiji Shrine?

もちろん、「明治神宮を訪れてはどうでしょう?」と言っても構いません。「訪れる」はvisit ですので、そのままの形で使い、How / What about visit Meiji Shrine? と、言いたくなりますが、英語ではこのようなとき、visitに ing を付けてvisitingとして、

How/What about visiting Meiji Shrine? と表現します。

column

単語を発音してみよう ①

kn

knのうち、最初のkは、英語では発音しません。「知っている」という意味のknowは、ケノウではなく、ノウと発音します。同じように、knifeも「ケナイフ」ではなく、「ナイフ」です。

gh

このghは全く発音しません。数字の8は、eightと書きますが、発音はエイトです。「高い」という意味のhighもハイと発音します。英語では親しい間柄では、Hello!と言わずに、Hi!と言って挨拶をすることが多いですが、発音を聞いているだけでは、highなのかhiなのか区別はつきません。

